

ESGスモールミーティング説明資料

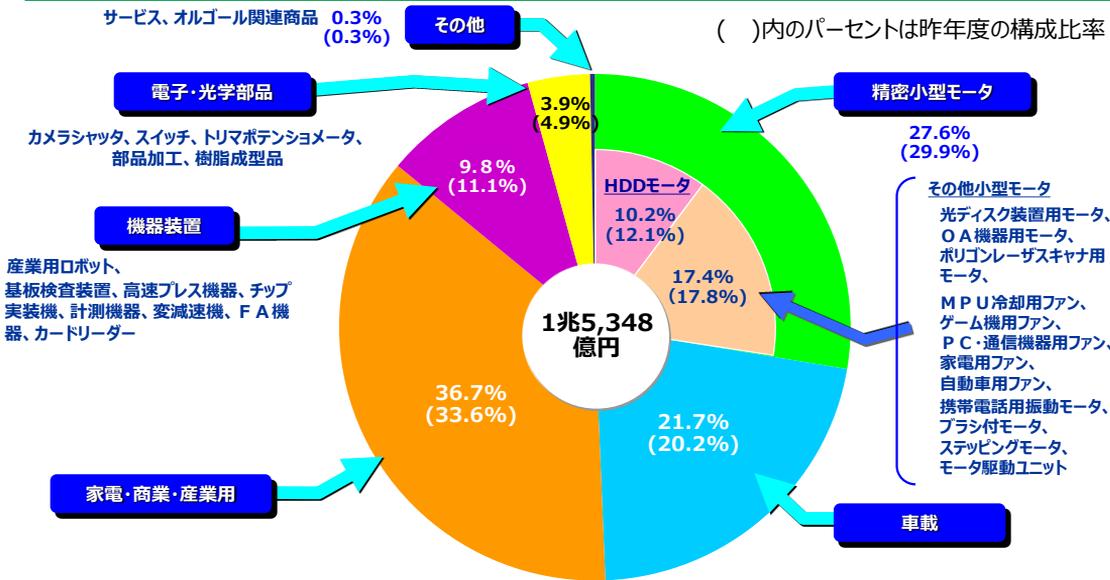
日本電産株式会社 IR・CSR推進部

Tel : 075-935-6140 E-mail: ir@nidec.com

－ 注意事項 －

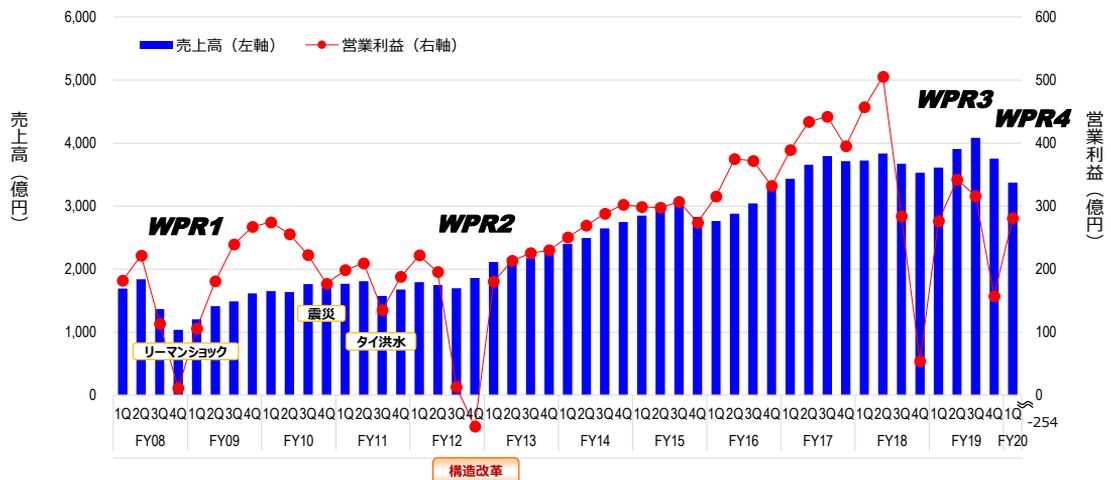
本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載や発言は、為替変動、製品に対する需要変動、各種モータの開発・生産能力、関係会社の業績及びその他のリスクや不確定要素を含みます。本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私達は、法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。また、この記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、私達の現在の期待とは、実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となり得ます。これらの要素やリスクについては当社の継続開示及び適時開示等の記載をご覧ください。

19年度、製品グループ別売上構成



四半期別の業績推移 (売上高・営業利益)

WPR4 活動によるコスト構造の改革を着実に継続し、需要の本格的な回復期に備える



■コロナ後の新「5つの大波」



コロナ禍で露呈した人類共通の課題を解決する日本電産のソリューションビジネス群

5G & サーマルソリューションの波
(キーワード：触覚、手振れ補正、放熱モジュール)

脱炭素化の波
(キーワード：走る・曲がる・止まる、安全・快適、熱マネジメント)

省人化の波
(キーワード：産業用ロボット、サービスロボット、物流)

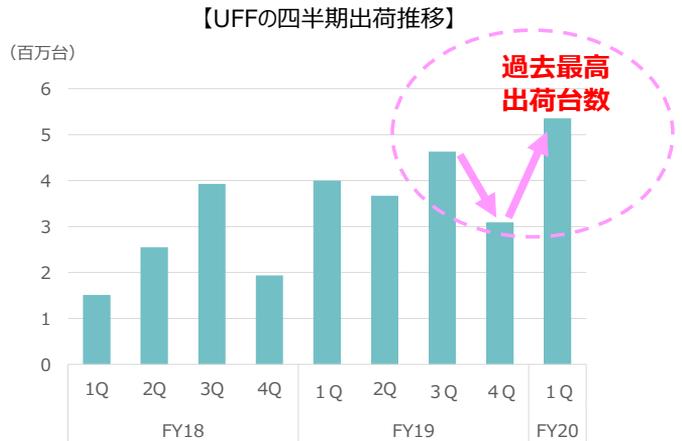
省電力化とコロナ後の波
(キーワード：殺菌、衛生、巣ごもり)

デジタルデータ爆発の波
(キーワード：高速・大容量、GAFA、巣ごもり)

■テレワーク需要



超薄型・超小型のファンモータ「UltraFlo FDB (UFF)」が堅調なテレワーク需要をサポート



■精密小型モータ：その他コロナ関連による新ビジネス紹介

衛生

テレワーク

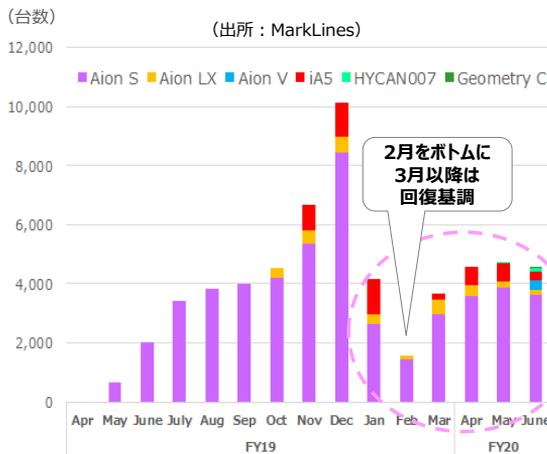
マスクFAN	医療呼吸器	ノートパソコン需要増	
 <p style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px;">呼吸アシスト用に薄型・低振動UFFを採用</p>	<p><医療用サーキュレイターイメージ></p>  <p style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px;">車載シートFANを応用</p>	 <p style="background-color: #ffff00; padding: 5px;">テレワーク増加でPC買い替え需要加速</p>	
Web会議/動画視聴増加			
<p>Web会議 動画サービス</p> 		<p>クラウドサービス事業者</p>  <p style="background-color: #ffff00; padding: 5px;">サーバー需要増加</p>	

■車載：当社E-Axle搭載車種の販売状況



当社E-Axle（トラクションモータシステム）採用車種の販売台数は、累計58千台超

【当社E-Axle採用車種の販売実績】



【当社E-Axleの受注先数】



【2020年7月1日時点での当社E-Axle採用車種】(発売日順)

製造メーカー	モデル名
广汽新能源汽车 (GAC New Energy Automobile)	Aion S
广汽丰田汽车 (GAC Toyota Motor)	iA5
广汽新能源汽车 (GAC New Energy Automobile)	Aion LX
广汽蔚来新能源汽车 (GAC NIO New Energy Automobile Technology)	HYCAN 007
吉利汽车 (Geely Automobile)	Geometry C
广汽新能源汽车 (GAC New Energy Automobile)	Aion V

■車載：当社E-Axleの新規受注①

当社のE-Axleが吉利汽車 (Geely Automobile) の新型EV「几何 C」 (Geometry C) に採用



吉利汽車控股有限公司「几何 C」 (Geometry C)

(ご参考) <https://www.nidec.com/jp/product/news/2020/news0527-01/>

- 吉利汽車は、メルセデス・ベンツやスマート等のブランドを有するダイムラー社と**2020年にスマートEV開発の合併会社を設立、積極的なEV化を進めています。**
- 新型EVである「Geometry C」は吉利汽車のハイエンドEVブランドであるGeometryシリーズの第2弾で、**500km以上の航続距離を実現しているほか、自動駐車システムや5G対応の最新インテリジェントネットワーク技術の搭載など大きな競争力が期待できます。**
- 「Geometry C」に搭載される日本電産のE-Axle「Ni150Ex」は2019年4月に量産を開始したE-Axleから進化したモデルで、当社が得意とする精密小型モータ開発で培われた優れた磁気回路設計のノウハウや永久磁石と独自のモータ油冷構造を生かした軽薄短小モータ構造、第2世代のインバータ採用等によって、同車の**動力性能、電費性能、音振性能の向上と車重の低減に大きく貢献しています。**

■車載：当社E-Axleの新規受注②

当社のE-Axleが广汽新能源汽车の新型EV「Aion V」に採用



广汽新能源汽车「Aion V」

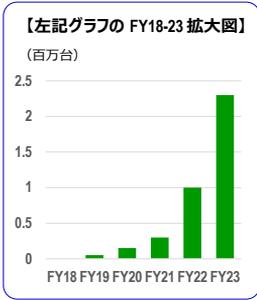
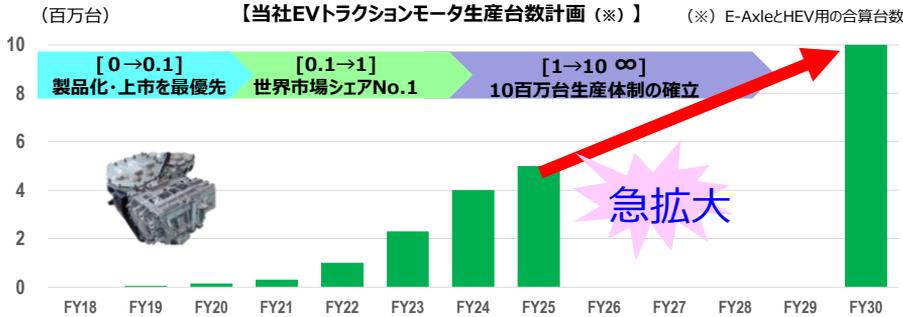
(ご参考) <https://www.nidec.com/jp/product/news/2020/news0709-01/>

- 广汽新能源汽车は、2017年に設立されたEVを専門に手掛ける広州汽車集団傘下のブランド。**2019年5月に発売したAionシリーズ第1弾「Aion S」が中国国内でのEV販売台数において常に上位に入るなど、目覚ましい成長を遂げています。**
- 同社が2020年6月に発売した新型EV「Aion V」は、シリーズ第3弾で、同社開発のアルミ製EVプラットフォームGEP2.0を採用、5G対応の接続システムや、オートパーキングシステム、高精度地図システムを使用した**レベル3の自動運転システム**など多くの新技術を搭載しています。
- 「Aion V」に搭載されるのは日本電産のE-Axle「Ni150Ex」で、2019年4月の量産開始以降、今回で**6車種目の採用**となりました。

■ トラクションモータ：2030年度10百万台体制を見据えた準備



急拡大する需要を掴み取るため生産・開発の足腰を固め、FY30の10百万台体制に備える



FY30年の10百万台生産を見据えたプロジェクトマネジメント管理

<p>次世代E-Axle開発</p> <p>モジュール化を進展させ、低コスト、高効率、更なる小型化へ</p>	<p>生産アロケーション</p> <p>常に3年から5年先を見越した最適生産場所の選定</p>	<p>品質・コスト</p> <p>内製化の積極推進で品質を作り込み、BOMコストも低減</p>	<p>生産設備</p> <p>グループ内連携やローカルサプライヤーの育成で設備コスト低減</p>
---	--	--	---

■ 再生可能エネルギーの活用を下支えする電力貯蔵システム



BESSに不可欠な電力変換システム



ドイツの電力貯蔵システム



チリのマイクログリッド・システム



イタリア・シシリ-島チミンナ郊外に設置された太陽光発電プラント

ロボティクス分野における当社製品の拡がり



サービス・コミュニケーションロボット分野	商業・産業用ロボット分野	物流・農業分野
広角カメラモジュール TiltACモジュール 超扁平プロジェクター ホール駆動モジュール 減速機 DCサーボモジュール プレ補正広角度カメラ (TiltAC) 触覚デバイス コアレスモータ ステッピングモータ ブラシ付モータ	ウェハー搬送ロボット 液晶ガラス基板搬送用ロボット ユニバーサルACサーボドライブ ロボットコントローラ ACサーボモータ ウェハー 減速機ラインナップ エンコーダ 圧力センサ ロボットモジュール フレームレスモータ	ドローン用モータ ドローン用シャッタ絞りユニット 倉庫用搬送装置用モータ ギアードサーボモータ パレットトラック用モータ 電動フォークリフト用モータ 電動シフト用モータ 建機・鉱業・農業機器用モータ

CSR ビジョン2020



重点課題	2020年度のあるべき姿	主な指標
E 環境	事業による環境負荷低減 事業活動から出る環境負荷を低減している	事業活動から出る環境負荷の5カ年平均を原単位表示で2015年度に対し5%削減する
	製品による環境貢献 環境配慮型製品のCO ₂ 削減貢献量を把握している	CO ₂ 削減貢献量を総量ベースで算出する仕組みがある
	自然環境保全 事業外活動で自然環境保全に積極的に取り組んでいる	推進単位ごとにプログラムがあり実施している
S 社会	ダイバーシティ 女性が男性と同程度に指導的地位にいる	女性管理職比率8% (日本電産本体)
	グローバル人材育成 グローバル競争に打ち勝つ人材がグループ全体で育成されている	実施研修の数、受講人数
G ガバナンス	企業倫理 企業倫理のあるべき姿を国際基準に照らして理解し実践している	80%の事業領域でEICC®基準に基づくCSR管理システムがある
	内部統制 経営の健全性と透明性が保たれている	金融商品取引法及び関連法規が求める内部統制 (日本版SOX法) 監査適合を維持している
	リスク管理 グローバルなリスク管理体制を整え実効性の高い管理を行っている	100%の事業領域で高いレベルのリスク管理体制を整備し実施している

【環境】 環境目標SMART2030を策定

2030年度の
温室効果ガス排出量
(総量)を
2017年度実績比で
30%削減する

SMART2030 (Sustainable Manufacturing And Resilient Tomorrow)

施策

- ① 自事業のエネルギー効率の向上
(新建屋建設時のLED導入、空調システムの効率改善、AI活用など省エネ型生産プロセスの開発)
- ② 再生可能エネルギーの積極導入
(太陽光以外の再生可能エネルギーの活用検討、太陽光発電パネルの導入、グリーン電力証書の活用推進)

【社会】 D&I推進室が誕生 (2020年4月1日)

一定の多様性
が実現された職場環境
のなかで、その多様さを
活かし強みにできる
企業づくり

旧

人事部 女性活躍推進室

新

人事部 **D&I推進室** (D&I: ダイバーシティ&インクルージョン)

【D&I推進室の役割】

- ① 性別の属性にとらわれず、すべての社員を対象に、ワークライフマネジメントを軸におき、生産性向上に向けて、高効率労働の追求・限りある時間の有効活用、健康増進を支援。
- ② 社員のキャリア形成に寄与する仕組み・運用を推進。
※女性活躍を包含し、2020年：女性管理職8%の達成に向けても引き続き対応。

【企業統治】 監査等委員会設置会社に移行

監査等委員会設置会社
に移行し、取締役会の
監督機能を強化

現行

- ・社内取締役 6名
- ・社外取締役 2名
- ・社内監査役 2名
- ・社外監査役 3名

取締役会の過半数を社外取締役 (内、2名を女性) で構成

移行後

- ・監査等委員でない社内取締役候補 2名
- ・監査等委員でない社外取締役候補 2名
- ・監査等委員である社内取締役候補 2名
- ・監査等委員である社外取締役候補 3名

9名中
5名が
社外取締役

14/16

社員の健康増進と活力向上を生産性改革に繋げ、一層の企業価値向上を目指す

Nidec 健康宣言

日本電産グループは、社員の健康と働きがいを経営の重要な源泉と位置づけ、「健康経営」の実現に向けた取り組みを推進します。社員の健康は、本人や家族にとってかけがえのないものです。また、社員がいきいきと挑戦し、活躍し続けることが、当社が目指す「100年後も持続成長する企業」の実現に繋がると考えます。社員とその家族とともに次代の社会を支える基盤づくりとして「健康経営」を掲げ、社員一人ひとりが情熱と熱意をもって最高のパフォーマンスを発揮し続ける企業を目指します。

日本電産グループ代表 永守重信



【取り組みについて】

- **健康推進委員会**を立ち上げ、経営層・健保組合や産業医・社員と連携する体制を構築。
- 新型コロナウイルス感染のリスク低減の観点から、**喫煙時間の段階的な削減**を開始しており、2021年度中には敷地内の完全禁煙を目指す。
- 今後も、当社社員の健康状況や課題を分析しながら、改善および**健康増進に向けた施策**を実行。

15/16



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan

2020 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

